

## 令和4年度 不安への対処力を養う「勇者の旅」プログラム実践校 募集要項

令和 3年 12月 13日

千葉大学子どもこころの発達教育研究センター長決定

### 1 趣旨

令和2年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」では、「不登校の要因」の主たるものとして「無気力・不安」が最も大きな割合を占めており（国公私立小・中合計46.9%）、前年度（39.9%）に比べ大幅に増加しました。千葉大学子どもこころの発達教育研究センターでは、「不安」への対処力向上を図ることを目的とした、授業として行う「勇者の旅」プログラムを開発し、効果検証および普及に向けた取り組みを行ってまいりましたが、令和4年度も引き続き、実践校におけるプログラムの定着化、および地域の拠点校づくりを目指したいと考えております。また、全国のより多くの学校で、新たにプログラムが実践されることも期待しております。

実践校は、事前・事後のアンケート調査実施により、児童生徒の「不安」の状態や変化を把握するとともに、アンケートデータの千葉大学への提供を通して、不安の問題への対処力向上の研究にご協力いただきます。また令和4年度は、保護者へのアンケート実施にもご協力いただけたら、と考えております。

なお、新規の実践校および新規の実践教員に対しては、夏休み期間等に、大学教員による教員対象の指導法等の研修（以下：指導者養成研修）が開催される予定です。

### 2 募集対象

(1) 小・中・高等学校 計50校程度（令和3年度実践校の継続応募を含む）

(2) プログラム実践学年 小学校5年生または6年生（学校の希望による）

中学校1年生または2年生（ ）

高校1年生または2年生（ ）

※上記学年のうち、プログラムを実施しない学年（対照群）はアンケート実施のみ協力

(3) 協力期間 1年間

### 3 応募方法

令和4年2月末までに、千葉大学子どもこころの発達教育研究センターまで応募票を提出してください。保護者へのアンケート調査にも協力可能な場合、その旨記載してください（この場合、児童生徒用教材にかかる経費は大学側が負担します）。なお、応募校多数の場合は、調整の上決定します。

### 4 実践校の協力内容

#### (1) Web アンケートの準備と実施

- ・児童生徒のメンタルヘルスの状態把握、およびプログラムの効果測定のための、プログラム実施学年児童生徒（保護者）に対する Web アンケート、プログラム非実施学年児童生徒（保護者）に対する Web アンケートの準備と実施。
- ・アンケートは、千葉大学が発行する ID・パスワードを用いて、パソコンやタブレ

ット（保護者はスマートフォンを含む）より直接回答・送信いただきます。

- ・アンケートの実施時期は、①プログラム開始直前、②プログラム終了直後、③終了3ヶ月後の計3回です。

※3回分の児童生徒アンケートデータを提出した学校には、後日、千葉大学よりアンケート結果がフィードバックされます。

- ・今年度実施予定の保護者アンケート（Strengths and Difficulties Questionnaire）の情報は、下記ウェブサイトよりご確認ください。

<https://ddclinic.jp/SDQ/aboutsdq.html>

## (2) 「勇者の旅」プログラムの実施

- ・小学生版の「勇者の旅」プログラムは、8+2時間扱い（45～50分の授業×10回）です。ただし、9、10時間目は、朝の学活等での実施も可能です。
- ・中高生版の「勇者の旅」プログラムは、9+1時間扱い（45～50分の授業×10回）です。ただし、10時間目は、朝の学活等での実施も可能です。
- ・プログラムは、総合的な学習の時間、学活、道徳、保健等の時間に実施いただきます。
- ・指導者は、指導案およびワークブック（児童生徒用教材）を使って授業を行います。
- ・指導者は、当該学級の担任を基本とし、養護教諭等、校内の教員によるTTが可能です。（T1の指導者は、指導者養成研修の事前受講が必要となります）。
- ・プログラムおよびアンケートは、原則として令和4年度中の実施をお願いします。年度内の実施が難しい場合には、実施時期や実施期間について大学と相談できますので、応募票にその旨ご記載ください。

## (3) 指導者養成研修未受講者への対応

- ・指導者養成研修未受講者には、千葉大学子どものこころの発達教育研究センターが主催する1日6時間の指導者養成研修を受講していただきます。
- ・研修は、千葉大学の教員が講師となり、週末または夏季休業中に、オンラインで開催予定です。

## (4) 各校における職員研修の開催について

- ・令和3年度までにプログラムを実践したことがある学校では、授業実践にあたった教諭がファシリテーターとなることで、各校にて職員研修（計6時間）を開催することが可能です。職員研修開催を希望する場合、応募票の所定欄にその旨ご記入ください。
- ・職員研修は、千葉大学で作成された視聴覚教材および研修マニュアルを用いて、各校にて都合の良い日時に実施いただきます。
- ・1日6時間の研修時間確保が難しい場合、2時間×3日に分けて実施することも可能です。
- ・職員研修受講者には、受講後アンケート（感想等）をご記入いただき、千葉大学へ提出していただきます。
- ・職員研修を開催する場合、ワークブックの費用負担は発生しませんが、最低16名の参加者が必要となりますのでご注意ください。

(5) 経費

- ・教材や資料等の開発や改訂等にかかる経費は、原則として大学が負担します。
- ・授業で使用する教材や資料等の各種印刷費用、児童生徒用教材（ワークブック）費、および指導者養成研修の受講料（通信費等を含む）は、原則として受益者負担になります。
- ・指導者養成研修の受講料は一人あたり 1,000 円（e-learning の場合は一人あたり 15,000 円）となります。
- ・児童生徒用教材（ワークブック）は、必要部数により単価が異なります。